

号外版

全国大会出場報告

発行所

小樽潮陵高校ラグビー部全国大会出場
後援協賛会実行委員会事務局
小樽潮陵ラグビー部 OB 会



高校セブンスラグビー開会式における力強い選手宣誓



喜び勇み晴れ舞台の競技場に整列した小樽潮陵の選手たち

新緑の候
皆様におか
れましては
ますますご
清栄の段、
お喜び申し
上げます。
さて、こ
の度の潮陵

多くの刺激

顧問の挨拶

また、全国大会出場の影響が新入部員も十三人ほど入部し、シーズンを迎えるに当たり、一層練習にも熱が入っているところでは、

これからも、指導者として、ラグビーを通じて心豊かな人間の育成に微力ながら貢献したいと考えております。そして、夢の花園を目指してまだまだ力不足ではございませぬが、生徒と共に努力、精進していきたいと思っております。今後とも潮陵高校ラグビー部に対するご支援よろしくお願いいたします。

主将の挨拶

この度の、茨城合宿をはじめ大会等たくさんの方々に応援していただきありがとうございます。皆様のご援助のおかげでぼくたちは大会前に土の上で練習ができた、新しいユニフォームで試合に臨むことができました。今回の合宿、大会で全国の様々なチームと練習や試合をし、ハイレベルなプレーの数々を身近に感じてたくさんの方を学び、とても良い経験をすることができました。目標の一勝はできませんでしたが、あの、秩父宮でプレーしたことは私たちの一生の思い出になるはず。これらの経験を今後の練習に生かし、より強くなることを目指します。今後の目標は、「花園」です。本当にありがとうございます。潮陵ラグビー部主将 堀江 昌史

成田 正人

末筆ながら皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。潮陵ラグビー部顧問

第四回全国高校セブンスラグビー選手権大会に出場 経験をつなげ

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

小樽潮陵ラグビー部は第四回全国高校セブンスラグビーフットボール選手権大会に出場し、平成十三年三月三十一日、東京・江戸川競技場で行われた予選で国学院栃木高校に20-5、芦屋高校に33-0で残念ながら敗退、翌四月一日、秩父宮ラグビー場で行われたポウルトーナメントで富山工業高校に33-7で敗退した。

協賛会会長挨拶

益々清祥の段、慶賀の謹啓 新緑の候 時下 小樽潮陵高等学校ラグビー部の全国大会出場に際し、

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

しまして、過分なる御寄付を賜り、御芳情の程まことに有難く厚く御礼申し上げます。

お陰様をもちまして無事全国大会に出場致しましたことを御報告させていただきます。試合につきましては、残念ながら予選リーグ及び結晶り

グともに敗退いたしました。この敗戦の経験を生かし、次回もしくは花園ラグビー場での試合を目指す所存でございます。更なる御支援を賜りますようお願い申し上げます。なお、皆様から頂きました御寄付は、別紙決算の通り使用させていただきました。一々参上申し上げるべきところですが本書状をもちまして御礼に代えさせていただきます。敬具 全国大会出場後援協賛会 会長 志村 和雄



雨のち雪—江戸川競技場には潮陵ファンが詰めかけ寒さもなんの潮陵セブズの先制トライを熱く見守っていた

全国大会観戦記

OB会長の藤中より全国大会出場の話の話を聞いたときから、58期の連中は落ち着かなかつた。

58期 石橋 亮一郎

汗と涙の数だけ多くの貴重な収穫 今後にかかろう

インターネットの58期。掲示板には、毎日のように全国大会会場や寄付金集めについての問い合わせが相次ぎ、とくに藤中会長の上京日程が知られるや、三月二十九日の夜は銀座のスパック「小樽」には同期十五人が集まり、歓迎の宴を催してくれることになった。ところが我儘な連中のごと、早朝より一流会社のパソコンを使用して「ニシンが食べたい」とか「当日はニシン漬けを持参あれ」等々と掲示板にメールを載せてくる。

開利弘(開博信の兄でプロップ)が「藤中会長の露払いで同行するのでよろしく」と仕事の中のメールなのかメール中の仕事なのか? 「間が露払いなら私は太刀持ちで」と小生もメール。結局三人での上京となる。千歳空港では藤中が「宗八ガレイの干物」、間が「ニシン漬」、私が「ホッケの開き」を手荷物で、しかも十五人分。頭を全部切り落としても重い。銀座の「小樽」のご主人は最後まで魚を焼きたっばなし。店内には煙と「小樽弁」が充満した。三十一日の江戸川区陸上競技場は桜満開の中の雪。東京で桜の花と雪を一緒に人が陣取る。この競技場に

61期のキャプテンの高橋も応援に駆けつけてくれた。三十数年ぶりの挨拶が爺様同志とは、まさに光陰如矢友人に紹介されるまで気がつかず、歳々年々人不同。第一試合の国学院栃木との先取点に沸いた潮陵応援団の大歓声も後は沈黙。第二試合はさらに沈黙。今となっては相手の校名もアルツハイマー。明けて四月の一日は気温も高く、昨日の天気はウソのように。秩父宮ラグビー場のメインスタンドに同期九人が陣取る。この競技場に

「小樽潮陵」のラグビー部旗が翻る事なんて、エイプリル Fool かもとつねる類：よくぞここまで来てくれた。東山中学校卒業の皆様が立派な応援旗がありとうございしました。向こう正面のど真ん中に飾られています。想い起せば、ラグビーと出会い始めて四十年。この度の助成金集めの会長・元小樽市長の志村レフェリーのホイッスルでただだいたすらに走った事が昨日のことのよう。いつも押されたばなしの試合で、上手になつたのはセイビング。現役諸君より誇れるのは体張つてのセイビングのみ。大学受験にしくじつて

予備校帰りに立ち寄る母校のグラウンドでは、新任の武田先生「指導の練習が続き「勝てるラグビー」に変身していた。あつという間に全道大会出場。嬉しくなつたものである。後輩に夢を託して幾星霜秩父宮のスタンドで「潮陵潮陵」と声が潤れるまで応援させてくれた後輩たちと成田先生に「ありがとう」の念で一杯である。

敗戦を喫してしまいました。以上が簡単な観戦記ではありますが、我が後輩たちは、一回線前半を互角に戦った自信と、後半に持続できなくなった悔しさを糧に、新たなシーズンを迎えてくれることを願っています。



校舞台の秩父宮ラグビー場でスクラム組む潮陵セブズ



「潮陵、潮陵」の大声援の中、プレーを続けるセブズ

技場で予選リーグを観戦してきました。当日は朝からの雨が雪に変わり、出張の途中でコートも持たず、背広姿の私には江戸川競技場の風は芯から冷えるものでしたが、反面うちのチームにとっては、この寒さが内地のチームよりハンドリング等有利に働くのでは、と期待しながら観戦しました。結果は一、二戦とも敗退しましたが、一戦目の国学院栃木高校との試合では、前半終了間際まで先制トライ後、堅実なディフェンスで5-0とリードを守り、ハーフタイム直前に同点に追いつかれました。しかし後半に期待をつなげてくれる内容でした。ところが後半はグラウンドコンディションの悪い中、前半で体力と集中力を消耗し尽くしたのか、自軍のミスと相手の走力に翻弄され力尽きたという様子でした。二戦目は一戦目後半をそのまま引き継いだ形となり、

試合結果

- ◎平成13年3月31日 江戸川競技場
- ▽予選Fプール
- 小樽潮陵高校 5-20 国学院栃木高校
- 小樽潮陵高校 0-33 芦屋高校
- ◎平成13年4月1日 秩父宮ラグビー場
- ▽ボウルトーナメント
- 小樽潮陵高校 7-33 富山工業高校



部旗を広げて広い秩父宮ラグビー場を回る小樽潮陵の選手たち

潮陵ラグビー部が初の全国大会出場—3月31日の予選では、まだ慣れない雪のないグラウンドで雨雪が降る中、国学院栃木からトライを取ることができた。4月1日のボウルトーナメントでは、前半を7-5で折り返すという場面もあった。結果として1勝もできませんでしたが、潮陵ラグビー部にとっては、貴重な体験になったと思います。また、応援に行った卒業生にとっても、大変な刺激になり、それぞれの進路先での努力へとつながっていると思います。北海道教育大学函館校1年・平成12年度主将 関川 淳司

貴重な体験・大変な財産

奮戦を称えるラグビー協会のHP 第4回全国高校セブズラグビーフットボール選手権大会を振り返りまして、たくさんのご声援・援助を受け、感謝の念で一杯です。大会にもたくさんのラグビー部OB、父兄の方々等がグラウンドに足を運んで下さり、恐縮しております。3月31日(土)の予選時には雨風や雪の吹き荒れる中、皆さんの温かい応援でトライも取ることが出来て、正直ほっとしています。日本ラグビー協会のHPにはセブズ予選レポートがあり、その中で小樽潮陵高校の奮戦を称えてくれています。



広々とした秩父宮ラグビー場も狭しと奮戦する潮陵セブズたち

選手たちはもちろん、監督、コーチ陣も初めてのセブズ全国大会、長期遠征のことで、全ての力を出し切れたかは、本音を言えば本人たち自身も分からないと思いますが、4月1日(日)の秩父宮ラグビー場での試合は、確実に学生たちにこれからの人生において、大変な財産になることだけは間違いありません。春のシーズンはこのような貴重な体験をさせて頂いたことを感謝しつつ、秋の大会に向けて更に一層の努力と研鑽を重ねていきたいと思っています。最後に小樽潮陵高校ラグビー部を応援、援助して下さいました小樽市民、後援協賛会、潮陵OB、ラグビー部OB、父兄、父兄OB、報道関係の皆様にご心から感謝、お礼申し上げます。小樽潮陵高校ラグビー部コーチ 辻村 博行

さらに努力と研鑽積む

さらに努力と研鑽積む

全国大会出場者 熱く燃え奮戦した若者たち

学年	氏名	身長	体重	出身中学	プレーの特徴
3	堀江昌史	168	58	岩内第一	100m11秒前半で疾走する快速ランナー、チームの柱、しかし勉強は…。
3	小刀補宅朗	174	95	西陵	スクラムの要、学年トップクラスの学力があるが、欠席が多いのが玉にキズ。
3	三輪勇貴	174	80	朝里	スクラムの安定度バツグン、しかしいまだノートライ。
3	鍵市篤史	178	76	黒松内	密集でのプレーを得意とする。ウエイトしても筋肉つかず。
3	滝澤徹	177	67	北山	他の選手をうまく使える、顧問と担任が同じ人物で苦しんでいる。
3	福田曜	173	66	朝里	スピードがありトライゲッター、顧問にだまされ昨年11月入部。
2	山村尚弘	166	59	東山	カバーディフェンスがよい、彼女と遊ぶ時間がなくなって困っている。
2	葉原祥	175	66	朝里	ステップ、パスワークが上手い、双子の弟チヨロスケ。
2	葉原彬	175	66	朝里	タックルがよく、サポートプレーが良い、双子の兄でしっかり者。
2	橋智巳	173	64	桜町	スピードがあり、タックルが強い、ボサツとしている。
2	盛田悟史	171	56	東山	パスがやわらかく上手い、理解するのに時間がかかる。
2	大野渉	172	80	松ヶ枝	当たりが強い、密集サイドの攻撃が得意、ノックンも得意。
2	大田貴弘	186	76	菁円	ラインアウトの要、走力がありつなぎやすく、特技は脱臼。

全国大会報告

おめでとう 全国大会出場

小樽潮陵高校ラグビー部全国大会出場壮行会



君たちが主役

潮陵セブンスの壮行会で挨拶する会長

「国際ホテル」に97人出席し盛大に壮行会

全国大会出場協賛会の経過報告

企業50、団体8、個人432から人3,961,530円集まる

- ◎平成12年10月16日 全道セブンスラグビー大会で潮陵高校優勝
- 平成12年11月22日 「潮騒」 OB会総会で協賛会について協議
- 平成12年12月19日午後6時 「潮騒」 協賛会立ち上げについて
趣意書について、役員について
役員の要請について
- 平成13年1月14日午後4時 「潮騒」 協賛会各役員承諾、ラ
グビー部OBに趣意書発送
- 平成13年1月16日 小樽市に補助金交付の申請
- 平成13年1月17日 小樽市記者クラブで報道依頼
- ①平成13年1月29日午後6時半 第1回役員会 「潮陵記念館」
会則、協賛金の集まり状況、今後の取り組
みについて、予算案500万円の提示 12名
- ②平成13年2月19日午後7時 第2回役員会 「潮陵会議室」
協賛金集まり状況1,662,500円、趣意書の発送拡大 15名
- ③平成13年3月5日午後7時 第3回役員会 「潮騒」 成田監督が合宿費を含め予算案3,647,288円を提示、壮行会案内状
の発送、進行について、全国大会実施要項—3月30日~4月1日、21チーム参加 12名
- 平成13年3月17日午後6時 壮行会 「国際ホテル」 97名出席(うち32名招待)
- ④平成13年4月23日午後7時 第4回役員会 「潮騒」

予想を上回る金額



協賛会実行委のメンバーが地道な打ち合わせ

平成13年度全国大会出場協賛金決算書

1. 収入の部			2. 支出の部		
項目	決算額	摘要	項目	決算額	摘要
寄付金	3,961,530円	企業50、団体8、個人432	遠征費	1,765,625円	交通費、宿泊費等
補助金	300,000円	小樽市	装具費	1,096,250円	ジャージ、コンタクト等
雑収入	9,910円	銀行利子等	事務費	179,199円	
合計	4,271,440円		振興費	1,230,366円	ラグビー部活動振興費
			合計	4,271,440円	

心温まるご厚情をありがとうございました

この度は、ラグビー部の全国大会出場に当たり、PTAの方々をはじめ、道内外の同窓生、学校関係者、地域住民の皆様等、数多くの方々からの心温まるご厚情を賜りまして、ありがとうございました。今後とも、本校の部活動へのご支援とご協力、合わせてOB会へのご参加、ご協力もよろしくお願い申し上げます。

事務局長 箕原 武夫